

あの色 / あの音 / あの光

Project for Children in Museum

- 会 期:5月31日(土)~8月31日(日)
- 休館日:月曜日(ただし7月21日は開館)、7月22日(火)
- 開館時間:午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料:一般700(600)円、20歳未満と学生550(450)円、65歳以上350円
()内は20名以上の団体料金です。高校生以下と障害者の方は無料です。
- 会 場:神奈川県立近代美術館 鎌倉
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53(鶴岡八幡宮境内) Tel. 0467-22-5000
- 主 催:神奈川県立近代美術館

この夏休みには、子どもも大人もいっしょに美術館での時間を楽しんでみませんか。

鶴岡八幡宮境内にある神奈川県立近代美術館 鎌倉は、蓮池が広がる水辺に建っています。夏には池に蓮の花が咲き、水面の光は美術館の建物にきらきらと波紋を映し出し、ゆったりとした空間をつくっています。この夏の展覧会では池の風景と呼応して空想を広げてくれる絵や彫刻、版画やドローイング、そして音の出る作品などを展示いたします。展覧会の作品とまわりに広がる風景の両方をあわせ、美術館全体を楽しむことで「ものを見る面白さ」を再発見していただきたいと考えています。館内で無料配布しているポケット絵本を手に、美術館でのひと時を楽しんでください。

また、展覧会会期中に蓮池をテーマにして、画家、作曲家、小説家などいろいろな分野の専門家といっしょにワークショップも5回開催いたします。各回限定20名。ふるってご応募ください。

★ ワークショップ

- 6月 1日 (日) 小説家 島田雅彦さんといっしょに「蓮池を書く」
- 6月 7日 (土) 画家 菊池敏直さんといっしょに「蓮池を描く」
- 7月20日 (日) 杉並区立科学館館長 渡邊昇さんといっしょに「蓮池を科学する」
- 8月10日 (日) 作曲家 片岡祐介さんといっしょに「蓮池を聴く」
- 8月24日 (日) anan編集長 及川卓也さんといっしょに「蓮池を編集する」
- ・各回20名募集
- ・10時から16時半まで
- ・お申込み、詳細情報についてはホームページをごらん下さい。

★ 学芸員によるギャラリートツアー

- 6月14日 (土)、7月26日 (土)、8月2日 (土)、8月16日 (土)、8月20日 (水)、8月29日 (金)
- ・午後3時から
- ・いずれも参加無料(ただし「あの色/あの音/あの光」展の観覧券が必要です。)
- ・予約不要

★ わくわく・ゆったりセット

- 7月1日から8月31日の期間は、18歳以下の方を対象に美術館を楽しむための「わくわく・ゆったりセット」をお渡ししております。
- ウェブ上にある引換券に必要事項をご記入の上、展覧会場入り口受付(2F)に持ち下さい。

このプレスリリースは美術館ホームページにも掲載されています。
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2008r_anoiro.pdf

■お問い合わせ先: 神奈川県立近代美術館 鎌倉
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53 tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/> 広報担当: 平井・丸尾 展覧会担当: 是枝・稲庭

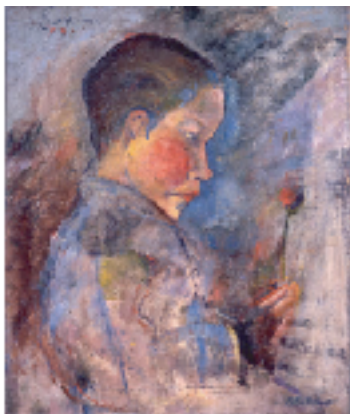
★ 出品予定作品

油彩画：関根正二《少年》、黒田清輝《逗子五景》、熊谷守一《きんけい鳥》、村井正誠《天使とトビア》

版画：オスカー・ココシュカ《夢見る少年たち》、マルク・シャガール《ダフニスとクロエ》、浜田知明《いらいら（A）》

彫刻：青木野枝《空の水-1》 宮脇愛子《メグ》、山本正道《遺跡の見える風景》

音の作品：吉村弘《ミ/ズ/ナ/リ》、《サウンド・チューブ》など収蔵品を中心に約70点展示。



関根正二 《少年》
1917年
油彩、カンヴァス 寄託



村井正誠 《天使とトビア》
1950/51年
油彩、カンヴァス 当館蔵



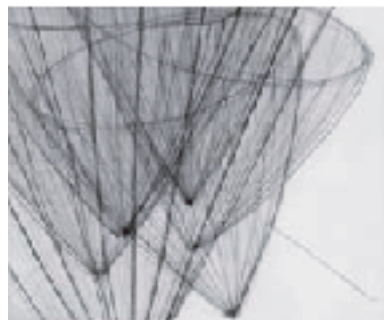
熊谷守一 《きんけい鳥》
1966年
油彩、カンヴァス 当館蔵



田淵安一 《インディアン・サマーIV》
1990年
油彩、金箔、カンヴァス 当館蔵



浜田知明 《いらいら(A)》
1974年
エッチング、カラー・アクアティント
当館蔵



青木野枝 《亀池+蓮池 7》
1997年
エッチング、ドライポイント、アクアチント
個人蔵